

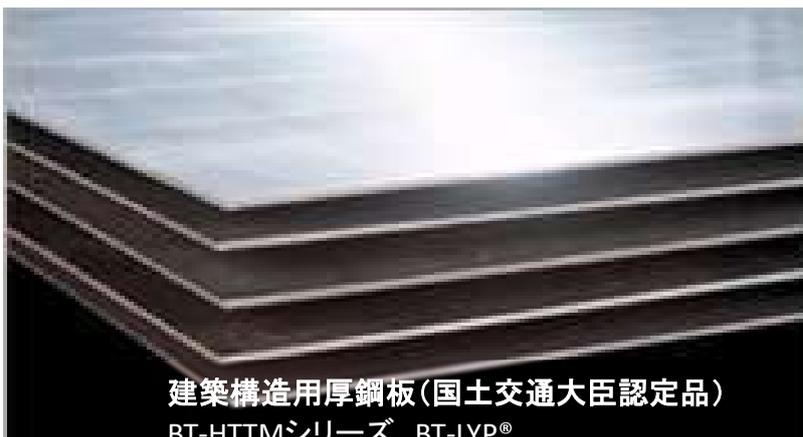


日本製鉄株式会社

建築構造用厚鋼板(国土交通大臣認定品)

BT-HTTMシリーズ、BT-LYP®

High Tensile Steel Plates for Building Structures : BT-HT™ Series、and Steel Plates for Elasto-plastic Hysteretic-type Dampers for Building Structures : BT-LYP®
(The Minister Certified steels for Constructions)



建築構造用厚鋼板(国土交通大臣認定品)
BT-HTTMシリーズ、BT-LYP®

算定単位

1t

算定対象段階

最終財 中間財

製造段階 (原材料調達、原材料の輸送、製品の製造)
及び間接影響

製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト：東日本製鉄所 [鹿島地区、君津地区]
名古屋製鉄所,九州製鉄所[大分地区]

主な規格：BT-HT325B,BT-HT325C, BT-HT355B,BT-HT355C
BT-HT385B,BT-HT385C, BT-HT440B,BT-HT440C
BT-HT630B,BT-HT630
BT-HT400C,BT-HT500C, BT-HT700A,BT-HT700B
BT-HT880B,BT-HT880C

形状：厚鋼板
問い合わせ先

日本製鉄株式会社
厚板技術部 厚板商品技術室
TEL：03-6867-6401
<https://www.nipponsteel.com/>

登録番号	JR-AJ-21007E-A
適用PCR番号	PA-180000-AJ-03
PCR名	建設用鉄鋼製品 (中間財)
公開日	2021年9月13日
検証合格日	2024年1月19日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-AJ-24016
検証有効期間	2026年8月4日

PCRレビューの実施

認定日等	2023年5月10日
委員長	松野 泰也 (千葉大学)

第三者検証者*

外部検証員 洲上 智子

ISO14025およびISO21930に従った本宣言及びデータの
の独立した検証

内部 外部

*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った
審査員の名前を記載。

① ライフサイクル影響評価結果

影響領域	製造+間接影響※1	製造のみ※2	単位
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	1200	2400	kg-CO ₂ eq
酸性化	-0.29	1.6	kg-SO ₂ eq
富栄養化	0.0018	0.025	kg-PO ₄ ³⁻ eq

※1：A1～A3およびDの合計 ※2：A1～A3の合計

内訳	項目	単位	合計	【A1】 原材料調達	【A2】 原材料の輸送	【A3】 製品の製造	【D】 間接影響
	気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO ₂ eq	2.4E+03	4.7E+02	1.2E+02	1.8E+03	-1.2E+03
	オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.5E-06	1.2E-06	8.2E-10	3.5E-07	-2.2E-07
	酸性化	kg-SO ₂ eq	1.6E+00	4.6E-01	6.8E-02	1.1E+00	-1.9E+00
	光化学オキシダント	kg-C ₂ H ₄ eq	1.3E-02	4.6E-03	1.2E-03	7.6E-03	-2.7E-01
	富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	2.5E-02	1.3E-03	7.4E-13	2.3E-02	-2.3E-02

② ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目	単位
非再生可能資源	7.9E+02 kg
非再生可能エネルギー	2.6E+04 MJ
再生可能資源	1.1E+03 kg
再生可能エネルギー	-6.3E+02 MJ
淡水の消費	3.6E+00 m ³

③ 材料及び物質に関する構成成分

項目	単位
鉄[Fe]	96.90 %
炭素[C]	0.25 %
ケイ素[Si]	0.55 %
マンガン[Mn]	2.00 %
リン[P]	0.03 %
硫黄[S]	0.02 %
その他	0.25 %

④ 廃棄物関連情報

項目	単位
有害廃棄物	0.00E+00 kg
無害廃棄物	1.5E+00 kg
一般廃棄物 埋立物	0.0E+00 kg
産業廃棄物 埋立物	1.5E+00 kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

⑤ 算定結果に関する追加情報

- ①間接影響として、JIS Q 20915に基づく鉄鋼材料のリサイクル効果を評価し、上記の表【D】にその値を記載した。間接影響分は上記の表【A1】～【A3】の合計値に加算される。
計算に使用したリサイクル率は93.0%（計算はJISQ20915に従い、2018年度の国内データ（出典：日本鉄鋼連盟、鉄源協会、スチール缶リサイクル協会）を使用）
- ②輸送シナリオはPCRに従った。
- ③電力原単位は「電力、一般電気事業者10社平均、2014年度」を使用した。
- ④1次データは2018年度のデータを使用した。



⑥-1. その他の環境関連情報

ISO14001認定工場で製造している

⑥-2. 有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
マンガン	7439-96-5	労働安全衛生法施行令

⑦使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3を使用した。また、スクラップ原単位 (スクラップ LCI) は原単位登録番号：JP-AJ-0001を使用した。

⑧備考

2024年1月 外販プロセスガスの取り扱いを修正した。

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)